

ホテルやレストラン、スパやショップなどで、編集部の新入、豆次郎が一日体験修行。
お店や企業の意外な一面、人とのふれあい。身体を張ってご紹介します。

朝礼とあいさつ



←スタッフ同士が向き合い、接客用語のあいさつ練習をします。元気な声で「いらっしゃいませ!」。演劇部出身の豆次郎も負けてはいられません。

→開店前に毎日行う朝礼。前日の売り上げ確認から今日の注意点まで、細かな指示が店長からバンバカ飛びます。日本のスーパーと同じスタイルなんです。背筋がピンと緊張。



1

どこでもいきますっ!
なんでもやりますっ!

豆次郎の バリ島修行道

第六道

パパイヤ



今回はクタの日系スーパーマーケット「パパイヤ」で修行。
充実の品揃えで日本人を虜にするこの店はムルタナディ通りにございます。



3

←冷凍食品などが保管されている倉庫で商品の整理修行。温度がマイナス 24~27 度に設定されているようで、豆次郎ガクガクブルブル凍りました。

→お次は通常の倉庫にて在庫チェック修行。正確な仕事が必要されます。



←フロアで足りなくなった商品は、すぐに倉庫から運びます。フロアには約 7000 品目の商品があるので、必要な品を探したすのもひと苦労。

→修行のシメはオフィスでPOP作成。特売品の品名と値段を書きこんでいきます。書道と色彩心理学を学んでいたというフロアマネージャーのように上手に書けません。



←フロアマネージャーの大垣さんに最後のごあいさつ。

「今夜 10 時から深夜まで棚卸し作業なので来てくださいね。」
「はっ?はい...」。



↑酢飯の上にサーモンのお刺身とイクラがたっぷりの海鮮丼。食べたい気持ちを必死におさえながら、手早くしかし丁寧に作ります。ああ、今すぐ食べたい。

お弁当修行



↑寿司コーナーに商品をディスプレイします。美味しそうに見えるよう細心の注意をはらって。

→できあがった海鮮丼をフロアへ品出しします。衛生第一で、手が商品に触れる時間を少しでも短くするため、たとえ数個のお弁当でも必ずカートを使って運びます。南国バリだからこそ、衛生管理は最重要なんです。

心をこめて

←手をよく洗い手袋を着用してから、お弁当の海鮮石狩丼作り修行。お弁当とはいっても手順がキッチンと決められており、記憶力が弱くなってきた豆次郎は四苦八苦。

2



入店

↑納豆から日本の惣菜まで何でもそろそろ「パパイヤ」。さて今回は、どんな修行が待ちかまえているのでしょうか?

お客様とのふれあい



コロツケ愛の手渡し

←惣菜コーナーにお客様がいらっしゃったので、ご希望のコロツケをバックに詰めラベルを貼ってからお渡します。お客様としかのふれあい。フロア修行には人生勉強のすべてが詰まっている気がします。

ごあいさつ



↑オフィスにて、店長(ストアマネージャー)へ最初のごあいさつ。インドネシア語ペラペラの敏腕店長は、物腰やわらかな優しい方でホッと安心。

スタッフの方たちの元気なあいさつと丁寧な対応は、商いだけでなく人として大切なことなのだ改めて感じました。パパイヤ様、ご指導ありがとうございました。

私たちは、常にお客様の声に耳を傾けます。人と人との関わりは、商いだけでなく人生の財産なんです。

店長(ストアマネージャー) 辻さん

パパイヤ・フレッシュギャラリー
Papaya Fresh Gallery

Jl. Merta Nadi, Kuta
Tel / 759222
Open / 10:00~22:00

豆次郎の修行をさせていただき企業様募集中。お問い合わせは mamejirou@dps.centrin.net.id まで。*ご希望に添えない場合もございます。